



Southern Cross

くぐるす ざざん

vol.30

KINAN HOSPITAL
OFFICIAL INFORMATION PAPER
September 1st.2013

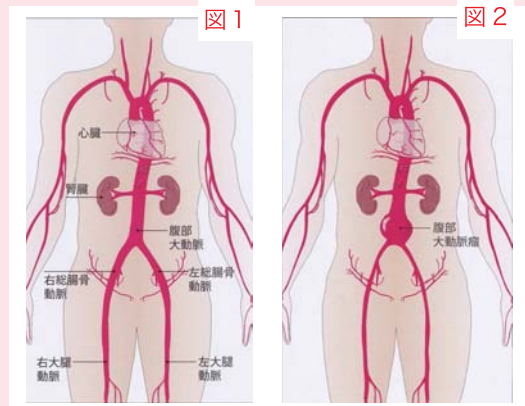
香川県の「がもう」うどん店の前にて撮影



心臓血管外科副部長
樋口 卓也

最近、腹部大動脈瘤(図1・図2)に対してステントグラフトを用いた治療(ステントグラフト内挿術)が行われるようになってきております。今回は腹部大動脈瘤に対するステントグラフト内挿術について紹介させていただきます。

ステントグラフト内挿術とは、カテーテル操作により血管の内側からステントグラフトが密着することで、瘤内へ血液を流れないようにして、瘤を減圧し血栓化させることで瘤の縮小化をはかります(図3)。日本では2006年7月に企業製造腹部大動脈瘤用のステントグラフトが保険適応となり、2010年の日本血管外科学会の集計では腹部大動脈瘤の外科的治療に対して約41%にステントグラフト内挿術が行われています。



ステントグラフトを使った治療の利点は、手術侵襲の低さであります。従来の外科手術と比較して、集中治療室滞在日数・入院日数等は有意に短縮されています。例えば午前中の手術であれば、夕食は十分摂取可能であります。また、その侵襲の低さから従来の手術では手術適応とならなかった超高齢者や心肺機能低下等の合併症を持った患者さんの腹部大動脈瘤に対しても治療が可能になってきております。

一方、すべての腹部大動脈瘤の患者さんがステントグラフト内挿術の適応になるとは限りません。ステントグラフト挿入が困難な解剖学的理由により、ステントグラフト治療ができない場合があります。またステントグラフトを入れた際に起こる特有の現象として、エンドリーク(図4)という動脈瘤内への血流の漏れがあります。エンドリークにはいろいろなタイプがあり経過観察で良い場合もありますが、タイプによっては瘤の縮小効果が得られず、状況によっては追加でステントグラフトを挿入しなければならない場合があります。

このエンドリークの有無やステントグラフトの移動等の確認のために、ステントグラフトによる治療後は、定期的(最低1年に1回)に造影CTで観察する必要があります。またステントグラフトを用いた治療成績は現状では長期の報告例はなく、高齢者以外(70歳未満)の患者さんには、遠隔期に追加治療を施す可能性があり、ステントグラフトの治療はあまり勧められません。

今後はステントグラフトやその周辺デバイスの性能の向上により、解剖学的な制約が少なくなり、また安定した長期成績が報告されるにつれてステントグラフト治療の適応年齢が下がり、ステントグラフト内挿術の適応が拡大する可能性があります。さらに最近では、腹部大動脈瘤に限らず、腸骨動脈瘤に対してもステントグラフト治療が行われており、今後ますますステントグラフトを用いた治療が拡大される可能性があります。

当院でも、腹部大動脈瘤・腸骨動脈瘤に対しては積極的にステントグラフト内挿術を行っております。心臓血管外科医あるいは心臓血管外科外来に是非ご相談してください。

図3 エンドリーク
(動脈瘤内への血液漏出)

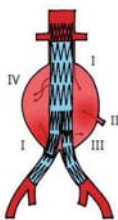
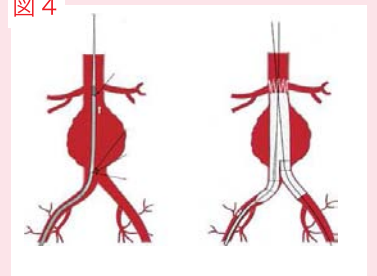


図4



「不合格」と私



研修医
小島 健介

1年目研修医の小島です。今月号から研修医日誌を再開するとのことで初回を任されました。大したネタもなく、何を書けば良いのか正直困りましたが、自己紹介を兼ねて、私の少し変わった経歴について書かせて頂こうと思います。

通常医師になるためには高校卒業後、大学医学部に入学し、卒業時に医師国家試験を受け、合格後に医師免許が交付されるというのが一般的です。しかし、私は高校を卒業してから医師になるまでかなりの時間を要しました。高校時代、医師になるという考えは一切ありませんでした。ただ、文系科目よりは理系科目の方が好きかなという程度の漠然とした考えで大学受験に突入。

当時理系学部の中では建築が面白そうと思い、建築学科を中心に受験しましたが、結果は全て不合格。行くところがないので仕方なく大手予備校へ。再起を図りますが、またしても結果はほとんど不合格。情けない話ですが、予備校の担当者にお前はココも受けとけと言われて受験していた青山学院大学の物理学科のみに引っかかりました。

青学というと渋谷にキャンパスを構え、民放の女子アナなども輩出している華やかでお洒落なイメージがあるかもしれませんが、これらはすべて文系の話。理系は東京の僻地のキャンパスへと追いやられ、お洒落とは程遠い、側壁に多数のパイプがむき出しになった老朽化した建物で大学生活を送ることになりました。大学で色々と講義を聴いている内に、生命科学に興味を持つようになったため、就職せずに大学院への進学を希望。ここを脱出したいという思いが強かったからなのか、大の苦手な受験勉強を何とか乗り切り、東京大学の生命科学系大学院へ入学。大学院生活は2年間で終えるつもりでしたが、微妙に研究が進展したこともあって、地下の研究室で少し結果が出ては一人でニヤつき自己満足に浸るという、端から見れば確実に気持ち悪い生活を更に3年間続けました。博士号取得後、再び人生の岐路が訪れました。このまま研究者としてやっていくのか、企業に就

職するのか。この頃から、医学関係者と共同研究の機会を持った経験から、医学への興味が芽生えていました。既に大学を卒業している者に医学部への入学機会を与える医学部編入という制度があることを知り、医師を目指すことにしました。この様な経緯で、大阪大学医学部の3年次に編入した時、既に30歳になっていました。

かつて大学受験に失敗せず、希望通りの建築学科に進んでいたら、医師になることはなかったと思います。また和歌山に縁もゆかりもない自分が和歌山の地で研修している状況も無かったと思うと、紀南病院とは不思議な縁を感じます。不合格の経験は誰しもしたくはないものですが、当時の不合格が、その後の人生を変える多くの経験をもたらしてくれました。医師としては未熟でまだまだ不合格な私ですが、紀南病院での研修で多くの経験を積み、次のステップへ進めればと思っています。色々ご迷惑をかけたり、助けていただくことも多いと思いますが、よろしくお願ひいたします。

「ピンクリボン紀南 2013 年熊野本宮大社ピンクライトアップ」

中央臨床検査部
石水 弘子

日時：10月13日 AM9:00~PM18:00 (ライトアップはPM21:00まで)

場所：田辺市本宮町 (熊野古道 熊野本宮大社大斎原 世界遺産 熊野本宮館)

行事：午前9時~午後2時半ごろ 熊野古道 リ・ボンウォーク(限定20名)

午後4時~午後6時 乳がん講演会および点灯式(会場 午後3時半)

長岡 眞希夫 医師 (社会保険紀南病院 副院長)

植野 映 医師 (筑波メディカルセンタープレストセンター長・筑波大学臨床教授)

蓮尾 久美さん (乳がん体験者・乳がん患者会すみれ会代表)

午後6時~午後9時 熊野本宮大社 大鳥居ピンクライトアップ

『がんは人ごとではなくなりました。現在は2人に1人ががんにかかり、3人に1人ががんで亡くなっています。乳がんは40歳~65歳ごろに一番多く罹患し、14人に1人がかかるとされます。しかし早期発見では、約90%が治るとされるので早期発見がとても大切です。

その為に毎年、誕生日に乳がん検診を受けましょうと多くの皆さまに言いふらしています。

10月に熊野本宮で皆さまと共に先生方のご講演を拝聴し、早期発見に繋がりたいと思っています。多くの皆さまと一緒に活動を致したくご協力、ご参加の程宜しくお願ひ申し上げます。』



地域医療連携だより

“光陰矢の如し”

顧みれば北野病院小児科(大阪市)を辞して香里園で10年間開業、昭和56年4月より田辺市に移転し、朝日ヶ丘に診療所を建てて開業、以来はや32年となる。この間平成18年1月より長男仁雄(以下H.と略す)が副院長に就任、さらに平成21年9月より彼は“ふくはらこどもクリニック”として1階で独立、従って小生は2階で福原医院を存続するに至った。言わば別居生活である。

開業以来、医師会を始め→紀南病院、国立南和歌山医療センターの各科の先生方には御世話になり深謝しています。小生いつしか齢も八十路になり充分活躍もできないが今暫く小児科、内科医師として頑張る所存ですので宜しく御指導下さい。

この間平成15年6月1日(月)、所用で熊取へ車で出かけた。当日は過労で頭が重く畳の上で横たわっていたが、午後3時頃頭を上げると回転性めまいが起こり、寝返りをしても同様で動けなかった。

当時和歌山日赤小児科にいたH.に来てもらって簡易心電計で検査の結果、やはり心房細動だと分かった。泉佐野へ救急車を要請し、H.が責任を持つからと和歌山日赤へ運んで頂いた。気がつく救急車には無口な妻が同乗していた。午後5時頃救急外来に到着した。H.は車で一足早く着いていた。慌ただしくベッドに移され血圧計、心電計がセットされ補液路を確保。大塚Drが来られて酸素投与と点滴が始まった。(ワソラン、続いてサンリズムであったとのこと)“まだ駄目だね、〇〇をやろうか”とH.と話した後、“電気ショックをするが全麻だから心配ない”との説明があり、「1〜つ、2〜つ、3〜つ」と算えている内に意識がなくなった。やがて“もう治ったで”と話しかけられ安心した。



福原医院
福原 文雄

因みに小生の受けた治療は直流徐細動で出力150ジュールとのこと、またバドルの当たる部分には、H.が小児科より使い捨ての電局パッドを持ってきて貼布してくれていたもので術後肌に何の変化もなく有難かった。その夜はH.宅で一泊、翌朝三男が田辺まで運転を代行してくれた。それから後は紀南病院副院長(当時)の山本忠生先生に月1回(平成23年3月末まで)診て頂き次第に回復して、今は一応完治している。

考えてみると、人生には天の利・地の利・時の利によって大きく影響されるものだと思う。お世話になった救急隊員、日赤救急外来のスタッフの方々、大塚先生、山本忠生先生また息子達や家内にも感謝するものである。

明日ありと思う心の仇桜夜半に嵐の吹かぬものかな
親鸞

社会保険紀南病院 中央臨床検査部各認定資格について

臨床検査は診療には無くてはならない部門であり、とても幅広く高度な技術や知識が要求されます。私たち検査技師は、さまざまな学会や団体が認定している認定資格を取得し、その専門性を高めることで診療部門に良質で正確な情報を提供しています。

当院スタッフが取得している認定資格には、(国際)細胞検査士・認定臨床微生物検査技師(ICMT)・認定血液検査技師・糖尿病療養指導士・健康運動指導士・認定輸血検査技師・認定一般検査技師・認定管理検査技師・聴力検査士・認定心電図検査技師・超音波検査士(循環器領域・消化器領域・体表臓器領域・婦人科領域)があり、合計33個の資格を取得しています。

今後、これらの認定資格についてご紹介していく予定となっています。

中央臨床検査部技師長
玉置 達紀

病院のまど

第43回市民健康講座について

今回は急増する前立腺がんについてお話しします。

男性に発症するがんですが男性だけでなくご家族みんなで前立腺がんについて学びませんか？

日時 平成25年9月29日(日)
午後2:00~3:00

演題 前立腺がんについて

演者 稲垣 武(社会保険紀南病院
泌尿器科部長)

会場 紀南病院 3階講堂

第42回市民健康講座について

第42回市民健康講座は消化器科、線崎智孝医長による「ピロリ菌と胃の病気」であった。ピロリ菌という言葉テレビ等で耳にする事も多いせいか講演会当日は110名の受講者がおしよせ大変盛況であった。講演会後のアンケートでは説明がわかりやすく良かったとの意見が大多数で講演会資料を余分に求める人が多かった。

編集後記

昼休みのウォーキングを始めて三年が過ぎました。毎日25分間。雨天でない限りほぼ毎日かけています。

夏は毎年歩くのをやめたくなるのを乗り越えて来た自負があるのですが、それにしてもこの夏の暑さは例年に比べ堪えまです。確実に去年の夏より暑くなっていることを身をもって体感しています。

それは一つ年をとったからなのか、温暖化の一環なのか…。日傘の購入を本気で検討中です。検討していたら夏が終わるのですが。

夏さえ乗り切れば後は散歩には良い季節。机の引き出しに着替えを常備して、もうしばらく頑張るとしよう…

N記

daikoku 株式会社 大黒

本社：〒640-8525 和歌山県和歌山市手平 3-8-43

和歌山事業所	：〒641-0012 和歌山市紀三井寺855-71
紀三井寺事業所	：〒641-0014 和歌山市毛見 1111-1
大阪支店	：〒550-0002 大阪市西区江戸堀 3-5-27
南大阪支店	：〒594-0031 和泉市伏屋町2-16-11
紀南支店	：〒646-0011 田辺市新庄町3778-2
神戸支店	：〒650-0023 神戸市中央区栄町通5-2-6
奈良支店	：〒630-8115 奈良市大宮町4-295-10 奈良朝日生命川口ビル 1F
関西空港営業所	：〒590-0523 泉南市信達岡中919-1
新宮営業所	：〒647-0052 新宮市橋本 2-5-61
東京麹町オフィス	：〒102-0083 東京都千代田区麹町3-5-2 BUREX 麹町 301号
京都丸太町オフィス	：〒606-8395 京都市左京区丸太町通川端東入 東丸太町32-3 上田ビル 3F

DAIKOKU MEDICAL SUPPLY

保健・医療・福祉の分野で、

「生命を守る人の環境づくり」を通じて

地域の発展に貢献することが

私達の使命です。

 **SEIKO MEDICAL**
医療の先へ。セイコーメディカル株式会社

■本社 〒640-8287 和歌山県和歌山市手平3-8-43 TEL. 073-435-2333 FAX. 073-435-2223	■田辺営業所 〒646-0011 田辺市新庄町2744番地 TEL. 0739-25-4535 FAX. 0739-25-4578
■大阪支店 〒595-0012 泉大津市北豊中町2丁目5番28号 TEL. 0725-31-3610 FAX. 0725-31-3619	■新宮営業所 〒647-0072 新宮市橋本20番22号 TEL. 0736-31-9130 FAX. 0736-31-9133
■医大前営業分室 〒641-0012 和歌山県紀三井寺768番地の13 TEL. 073-448-3787 FAX. 073-448-3781	■奈良営業所 〒832-0082 天理市荒崎町56番地の4 TEL. 0743-64-3607 FAX. 0743-64-4810